

たくさんの学びと感動をくれた第2の故郷“シドニー”

北海道教育大学 函館校 国際地域学科・地域協働専攻

国際協働グループ 3年 一戸 結菜

留学先大学：シドニー工科大学（オーストラリア）

私は2018年2月16日から2019年1月16日までの約1年間、オーストラリアのシドニー工科大学に交換留学に行ってきました。この報告書では、私が留学経験で学んだことや考えたことについて、また、これから留学したいと思っている学生の皆さんの後押しとなるようなメッセージをお伝えできたらと思っています。

長かったようで、あっという間な1年間でしたが、私はこの1年間でたくさんのことを実際に経験することで、多くを学び考え、とても充実した留学生活を送ることができました。留学前は、シドニーについてたくさん調べ、毎日不自由のないワクワクな留学生活を思い描いていました。いざシドニーに着くと、当たり前ながら周囲の言語が全く耳に入ってこない状況に戸惑ってしまいました。空港でピックアップのバスを待っている間にも、ヨーロッパから来た子たちは、母国語でもない英語を流暢に話し、友達を作り始めていて、着いて早々に、自分はこれから1年間もここで暮らすのかと怖じ気づいていました。私は、初め英語準備コースを受けたのですが、周りはほとんど日本人ばかりでした。授業が始まると、周りの子たちと比べて自分の英語力の不足に焦りや不安を感じたり、ルームメイトと話すたびに緊張して言葉が出てこなかったりと、上手くいかない事がたくさんありました。しかし、いつまでも間違いを恐れてはいけなないと思ひ、とにかく話したいと思つたことは時間がかかっても伝えようと努力することを心がけました。また、自分のペースでゆっくりでも着実に、英語の知識もつけようとIELTSの勉強も進めました。

間違いを繰り返しながら学んだことは、ミスを恐れなないということです。間違ふことを怖がって、何も聞かずに分からないままでも、何も状況は変わりません。積極的に自分から行動を起こさないと、この国では自分は置いてかれてしまうということに、早く気がつく事が大切だと思ひました。オーストラリアには、多種多様な人々がたくさんいます。みんながそれぞれ異なるバックグラウンドを持ち、英語を母国語としない人々も多く暮らしています。そんな中で、誰も自分の文法や発音が間違っているなんて気にしません。多少違つていても、自分の意思を伝えることの方が重要だと学びました。次第に、ルームメイトを含め、外国人の友達と話していく中で、自分のつたない英語でも聞いてくれるんだという安心感と感謝の気持ちが生まれました。最初はカフェで注文するのも緊張して怖がっていましたが、今では外国人に対して英語を話すことに恐怖はありません。むしろ、もっと英語を使いたい、話したいと思ひます。

そして、私がオーストラリアを選んで良かったと思ふ点は、国籍や性別の差など、あ

留学報告書

らゆる差を超えて、みんなが平等に楽しく暮らしている社会の一員になれたことです。人種や性別など様々な人が暮らしているシドニーでは、最初は驚きが大きかったです。個々の違いを受け入れ尊重する姿勢に感動を覚えました。1年を通して、様々な文化や社会背景に配慮したイベントが行われていて、オーストラリアがどうして多文化・多国籍国家と言われているのがよく分かりました。現地の子たちと遊んだり、留学生通しでは、お互いの国について話すうちに、異なる文化や社会体制に興味を持ち、オーストラリアだけではなく、アジアやヨーロッパの諸外国についてもっと知りたいと思いました。

印象に残っている思い出は、授業で知り合ったドイツ人の友達と出かけた東海岸のロードトリップです。私は運転ができず、ずっとナビを担当していたのですが、全く知らない土地を探検しながら旅行するのがとても楽しかったです。途中で、親切な地元の人に出会い、急遽彼女の家の牧場を見せてもらえることになったり、たくさんの動物たちや自然を満喫しながら、現地の人たちの暖かさに触れた、中身の濃い経験でした。この1年間で、たくさんの異なったバックグラウンドの人々と出会い、世界中に友達を作ることができたと思います。今でも連絡を取り合っていて、海外旅行にもっと行きたくなりました。

シドニーで過ごした1年間は、毎日が私の大切な宝物です。経験することすべてが新鮮で、忘れることのできない思い出となりました。少しでも留学に興味関心があるのであれば、経験してみることを心から勧めます。たくさんの人とふれあうことで、自分の価値観や物事のとらえ方にも大きな変化がありましたし、自分に自信ができました。自分自身の成長を実感することができ、ここまで成長できた自分を支えてくれた、周りの家族や友人、先生方のありがたさに気がつきました。私はこの1年間で、自分の意思を持つことが大切だと改めて学びました。留学したいという意思があるのであれば、是非行動に移してみてください。きっと後悔のない素敵な経験になるはずです。応援しています！



ドイツ人の友達と
ロードトリップに出かけたとき：
親切な地元の方々が周辺の観光に
連れて行ってくれました



私の寮から徒歩10分程のところにある Darling Harbour。夜景がとても綺麗です。(左)
シドニーといえばビーチ！この Bondi Beach はクリスマスの日撮影したもの。(右)



帰国2日前にお世話になった
人たちと farewell party を
しました